

18. 農学研究科、附属農場

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 50)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 50)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 世界展開力強化事業として京都大学ダブルディグリー・プログラム第1号となったガジャマダ大学（インドネシア）、バンドン工科大学（インドネシア）、カセサート大学（タイ）に加え、ボゴール農業大学（インドネシア）、国立台湾大学（台湾）とも協定を締結し、計5大学とダブルディグリープログラムを実施している。また、国費特別枠優先配置プログラムで年間10名程度の枠を獲得し、優秀な留学生の持続的な獲得に努めている。その他、国際協力機構（JICA）が実施しているABEイニシアティブを始めとする4つの留学生受入プログラムに参画している。双方向型の国際交流について促進を強化するため、22か国61校と部局間学生交流協定を結び、協定校との交換留学を行っている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。